

老人と障害者の自立のための

37th 国際福祉機器展 Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition 2010

会 期：2010（平成22）年9月29日（水）～10月1日（金）
会 場：東京ビッグサイト 東展示ホール（東京都江東区有明）
出展社数：約490社・団体（日本442社・団体、海外58社）※見込み
開場時間：午前10時～午後5時
入 場 料：無料（登録制：当日または事前）
主 催：全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会

H.C.R.では、毎年わが国の保健福祉・介護・医療分野における課題を取り上げ、大学、関係団体・機関、専門家と連携し、福祉・介護職の資質向上と情報提供のため各テーマにおける取組み事例や対処方法などを紹介する国際シンポジウムや、ふくしのスキルアップ講座を開催しています。今年はずぎのとおり開催いたします。

※参加方法については、本会Webサイト(<http://www.hcr.or.jp>)を参照ください。

HCR2010 国際シンポジウム「ヨーロッパの医療制度改革の動向と評価」

日 時：2010年9月30日（木）13:00～15:30

会 場：東京ビッグサイト会議棟6階 605～608 会議室

講 師：ブルーノ・パリエ 氏 パリ政治学院教授、ヨーロッパの社会保障制度改革メンバー

定 員：250名 ※定員になりしだい締め切らせていただきます

現在、オバマ大統領のもとに医療制度改革を進めるアメリカをはじめ、ヨーロッパや日本など先進各国は、医療制度の改革を緊急の課題として取り組んでいます。

先進各国では少子高齢化が進むとともに医療費が上昇し、国の医療制度を決める大きなファクターとして財政面の健全性や確保が最前列に立つようになりました。この背景には、少子高齢化が進むなかで、医療制度を含めた社会保障制度の増大する経費を税や保険料で賄うのには限りがあることです。

多くの国々では、効率化を目指し競争メカニズムを導入しましたが、その結果、平等性を失くすだけでなくかえって総医療費の増加を招くこともありました。それにもかかわらず何故競争原理を選択する国々があるのでしょうか？競争メカニズムの導入は、待機時間の短縮などの快適性や医療の質や技術の向上などの面では効果が上がっているからです。

医療に関わる課題をすべて同時に改善させることは不可能に近いものがあります。それでも先進各国の政府は、財政支出を模索しつつもコントロールし、国民の医療ニーズに合わせて医療の質、平等性、快適性をどう組み立てていくかという改革に取り組んでいます。

本国際シンポジウムでは欧州の医療制度改革の動向と評価を学ぶとともに、わが国の医療制度のあり方を考えます。

H. C. R. 2010 ふくしのスキルアップ講座

◆開催日：2010年9月29日(水)～10月1日(金)

◆プログラム（予定）

1. 福祉施設職員講座

(1)福祉施設の現場で開発された利用者サービスの工夫～老人ホームの創意・工夫事例の発表～

介護・障害者施設の現場では、スタッフが日々の利用者への援助・支援をとおして考えた創意・工夫により、さまざまな福祉サービスの改善がはかられています。こうした質的向上を図るための創意・工夫には、ほかの施設でも活かせるアイデアとヒントがあります。

本講座では、創意・工夫の情報を共有することで、福祉サービスの質の向上をはかることを目的として、高齢者施設の事例を紹介します。

◇会場：「東1ホール特設会場A」

◇日時：29日10:30～12:00

◇発表事例

- ①Foot ケアをはじめました
- ②食事用エプロンゼロ活動

(2)医療的ケアと福祉的ケアの融合

～福祉施設における医療にかかわる事故事例とその対応～

現在、介護・福祉施設では医療的ケアを必要とする利用者が年々増加し、介護職員が医療的行為や薬にかかわるケアに接する機会が増えています。また、嘱託医や看護師の配置も十分とはいえ、夜間や緊急時における医療的対応は、介護・福祉施設にとって重要な課題となっています。

本講座では、日常的に利用者に接する介護職員がサービスを提供するなかで起こる医療的事故の内容と、その対処法・予防策について考え、医療・福祉の効果的な連携と安全管理について学びます。

◇会場：「東1ホール特設会場A」

◇日時：29日13:30～15:30

(3)介護サービスとリハビリテーション

～リハビリを必要とする利用者への介護職員の関わり方～

利用者にできるだけ自立して生活していただくことを考えれば、高齢者福祉施設においても効果的なリハビリテーションの実施が不可欠である。効果的なリハビリには目標と期間の設置や、リハビリ専門スタッフと介護のスタッフの連携が求められる。

しかし現実的には介護サービスの中に積極的にリハビリを組み入れているところは少ない。

ここでは、事例発表をとおし、リハビリを必要とする利用者に対する効果的な施設職員の関わり方を考える。

◇会場：「東1ホール特設会場A」

◇日時：1日10:30～12:00

(4)福祉施設における環境への取組み事例の紹介

近年の環境問題は、地球上に暮らすすべての人々や団体・機関が取り組まなければならない問題です。

しかし、社会福祉施設の現状をみると、環境に対する意識や意欲がいまひとつの所が少なくありません。一方で社会福祉施設の中にも積極的に環境への取組みをおこない、環境の向上に寄与するとともに、障害者や高齢者の就労の場やいきがづくり役に立っている施設もあります。

ここでは環境福祉に取り組む先進的な事例を紹介します。

◇会場：「東1ホール特設会場A」

◇日時：1日13:30～15:30

2. 利用者・家族講座

(1)有料老人ホームなど高齢者施設の選び方

現在、特別養護老人ホームでは多くの待機者がかかえ、とくに都市部では入居がとても困難になっています。そのため有料老人ホームや高齢者専用賃貸住宅など高齢者を対象とする住宅や入居施設の種類が増え、さまざまな形態がみられるようになりました。しかし、急激に施設や住宅を増やしたため、一部の施設や住宅では設備やスタッフの配置が十分でなく、利用者のニーズや課題に応えきれていないとの指摘もみられます。

昨年の H.C.R.2009 での高齢者施設の種類と現状を解説するセミナーに引き続き、さらに一歩すすめ、有料老人ホームなど高齢者施設の選び方のポイントを解説します。

◇会場：「東1ホール特設会場 A」

◇日時：30日 13:30～15:00

(2)高齢者の財産管理Ⅰ・遺産相続の留意点と準備のポイント

高齢者人口が増加するなか、遺産相続は身近な問題となっています。とくに遺族間で相続が問題化することも増えています。

備えとして予め相続に関わる不安や疑問をなくすよう、遺産相続の知識や留意点、事前準備のポイントを紹介します。

◇会場：「東1ホール特設会場 A」

◇日時：30日 10:20～11:20

(3)高齢者の財産管理Ⅱ・遺言信託の内容と現状

現在、遺産をめぐる遺族の間で相続争いも頻発しています。また、残された家族によっては、財産を遺言にそった適正な執行ができないこともあります。

ここではこうした課題に対する解決方法の1つとして信託銀行がおこなっている遺言信託を紹介します。

◇会場：「東1ホール特設会場 A」

◇日時：30日 11:30～12:30

(4)高齢者世帯向けの手軽な日々の食事～市販の弁当・惣菜も工夫しだいでこう変わる～

高齢者夫婦だけや一人暮らしの世帯では、食材が残る、張り合いがない、つくるのが大変などの理由で毎日の食事をつくる世帯が減っています。

そこでコンビニの弁当やスーパーの食材をもとにしつつ、ひと工夫加えることによって栄養バランスがとれた食事にし、健康的な食生活をおくることを学びます。

◇会場：「東1ホール特設会場 C」

◇日時：①29日 11:15～12:15、②30日 13:00～14:00、③1日 11:15～12:15

(5)はじめての福祉機器選び方・使い方セミナー

◇会場：「東6ホール特設会場 G」

◇テーマと開催日時

29日	11:00～12:00 住宅改修	13:00～14:00 トイレ・排泄用品	15:00～16:00 入浴機器	
30日	10:15～11:15 ベッド	11:30～12:30 リフト等移乗用品	13:00～14:30 車いす	15:00～16:00 杖・歩行器等補助用品
1日	11:00～12:00 福祉車両	13:00～14:00 自助具	15:00～16:00 コミュニケーション	

身近にあるテクノロジー(あるテク)を福祉機器に変身させる講座 ～電子ブック、携帯電話・スマートフォンなど身近な機器を使い日常生活を豊かにする知識～

近年、携帯電話・スマートフォンやパソコンなど身近にある機器の技術革新は目覚しく、これまで専用の機器を必要とした多くの障害がある方のコミュニケーションが気軽に、そして安価にできるようになってきました。携帯に備えられたメモ機能やカメラ機能はコミュニケーションに役立つだけでなく、スケジュール管理や高い棚に何があるかを調べるなど日常生活を豊かにします。

また、最近話題の電子ブックも使い方によっては大きな可能性を持っています。機器の機能を知りどのように使うかで生活が変わってくるのです。ここでは電子ブックや携帯電話など身近な機器を使って生活を豊かにするヒントを紹介します。

◇会場：「東ホールガレリア特設会場 D」

◇テーマと開催日時

29 日	11:00～12:00	携帯電話などの身近にあるテクノロジー(あるテク)で支える障害者雇用
	13:00～14:00	パソコンを障害のある人や高齢者が使いやすくする －Windows 7 のアクセシビリティを中心に－
	15:00～16:00	福祉に活用できる一般製品ウォッチング －障害のある人の生活を楽にする身近にある製品を紹介－
30 日	11:00～12:00	福祉施設などで楽しめるパソコンソフトの活用法
	13:00～14:00	携帯電話で支える福祉・特別支援教育
	15:00～16:00	電子ブックは障害のある人の読書をどう変えるか？
1 日	11:00～12:00	ATM や情報キオスクのアクセシビリティ
	13:00～14:00	携帯電話のアクセシビリティ
	15:00～16:00	身近にあるテクノロジー活用の 10 のアイデアーちょっとメモする、ちょっと尋ねるなどできなかったことを可能にする「あるテク」－

H.C.R. 2010 事務局

(財)保健福祉広報協会

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5F

TEL. 03-3580-3052

FAX. 03-5512-9798

http : //www.hcr.or.jp